

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月
		○

局名	保健福祉局
-----------	--------------

基本計画	柱	きずなを結ぶ	担当局／総務担当課名	保健福祉局	総務課
	大項目	誰もが元気で安心して地域で生活できるまちづくり			
	取組みの方針	健康づくり			
連絡先				582-2497	

■21年度計画

Ⅱ-2-(3)-①

施策名	市民主体の健康づくりの推進
------------	----------------------

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市民センターを拠点とした健康づくりの仕組みを構築して、市民主体の健康づくり活動の充実を図ります。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	健康づくり

成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度		目標値	
	年度	平成21年度		年度	平成24年度	年度	平成23年度
施策の成果	市民センターを拠点とした健康づくり事業実施・健康づくり推進員複数配置している市民センター数	118	市民センター	129	市民センター	129	市民センター
	市民センターを拠点とした健康づくり事業の実施や健康づくり推進員の複数配置をすべての市民センターで行えば、市民自らが健康づくりに取り組む環境が全市的に整うことから、この事業を実施する市民センター数を当施策の指標としました。目標値は健康福祉北九州総合計画(改訂版)によるものです。	118	市民センター	118	市民センター	91.5	%
	健康マイレージ事業参加者数			20,000	人		
	健康マイレージ事業の参加者が増えれば、健康づくりの気運が高まり、各種健診受診者の増加が見込まれるため、当事業参加者数を当施策の指標としました。目標値は第二次北九州市高齢者支援計画によるものです。	4,590	人	4,590	人	23.0	%
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月【21年度:執行額】		事業費	23,833	千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)	
			うち一般財源	13,082	千円	130,350 千円	

■局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	C	主な分析理由
	成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。		
今後の局施策の方向性	<p>市民センターを拠点とした健康づくり事業(通称:地域でGO!GO!健康づくり)は今年度新たに14校区を追加して75校区で展開しました。また、例年実施している健康づくり推進員養成講座で養成された推進員は585人となりました。健康づくり推進員は各区で健康づくり活動を5,018件実施し、携わった事業には延べ236,068人の参加がありました。</p> <p>健康マイレージ事業については、市民センターを中心にPRを実施し、1,000件以上の事業が登録されましたが、初年度の7月から事業開始ということもあり、市民へ十分に周知することができず、参加者数は計画値に達しませんでした。</p>		
	<p>市民センターを拠点とした健康づくり事業及び健康マイレージ事業は、地域健康づくり事業の拡充のために実施しており、市民の健康意識を高め、健康診査受診率の向上、ひいては医療費の適正化につながる重要な事業です。また、これらの事業を実施する上で、健康づくり推進員は市民ボランティアとして大きな役割を担っています。</p> <p>市民センターを拠点とした健康づくり事業を実施、または健康づくり推進員を複数配置する市民センターについては、最終年度の目標に向け、着実にその数を伸ばしており、今後も引き続き事業を推進していきます。</p> <p>健康マイレージ事業については、対象事業の拡大を図り、PRを多角的に行うほか、より参加しやすい仕組みづくりを行っていきます。</p>		

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

■ 評価担当部署の意見

<input checked="" type="checkbox"/> 適切な評価	<input type="checkbox"/> 下記のとおり
---	---------------------------------

施策名 **市民主体の健康づくりの推進**

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性		
	C時点【21年度:執行額】					—	—	21年度
	—	—	21年度					
市民センターを拠点とした健康づくり事業			11,547 千円	111,420 千円	裁量経費	—	—	ウ
① 事業費のうち一般財源			11,547 千円					
健康マイレージ事業			12,286 千円	18,930 千円	特別経費(重点)	—	—	ア
② 事業費のうち一般財源			1,535 千円					
			千円	千円		—	—	
③ 事業費のうち一般財源			千円			—	—	
			千円	千円		—	—	
④ 事業費のうち一般財源			千円			—	—	
			千円	千円		—	—	
⑤ 事業費のうち一般財源			千円			—	—	
			千円	千円		—	—	
⑥ 事業費のうち一般財源			千円			—	—	
			千円	千円		—	—	
⑦ 事業費のうち一般財源			千円			—	—	
			千円	千円		—	—	
⑧ 事業費のうち一般財源			千円			—	—	
			千円	千円		—	—	
⑨ 事業費のうち一般財源			千円			—	—	
			千円	千円		—	—	
⑩ 事業費のうち一般財源			千円			—	—	
			千円	千円		—	—	

局施策全体のコスト	—	—	21年度	
			事業費	人件費(目安)
			23,833 千円	130,350 千円
施策全体の事業費のうち一般財源			13,082 千円	

局施策の
21年度評価

C

【局施策評価】
A:大変良い状況にある
B:概ね良い状況にある
C:概ね良い状況とまでは言えない
D:不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続
		○

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月
		○

担当局/課	保健福祉局	健康推進課
連絡先	582-2018	

基本計画	柱	きずなを結ぶ
	大項目	誰もが元気で安心して地域で生活できるまちづくり
	取組みの方針	健康づくり
	主要施策	市民主体の健康づくりの推進

関連計画	健康福祉北九州総合計画健康づくり部門
事業期間	平成16年度～
経費区分	裁量経費

#REF!

事業名	市民センターを拠点とした健康づくり事業
-----	---------------------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市民が主体となり話し合い、目標の設定・目標を達成するためのプログラム設定・実践(健康講座・ウォーキング等の健康づくり活動)・事業評価を一つのサイクルとし、まちづくり協議会、健康づくり推進員、食生活改善推進員、医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、保健師等が連携して健康づくりに取り組む「市民センターを拠点とした健康づくり事業(通称:地域でGO!GO!健康づくり)の全市民的な展開を目指し、実施主体のまちづくり協議会に補助金を交付します。さらに、地域で健康づくり活動などに積極的に取り組む人材として、健康づくり推進員を講座などを通じて養成し、一体的に市民主体の健康づくりを推進します。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	市民主体の健康づくりの推進	成果
				① 「地域でGO!GO!健康づくり」の実施または健康づくり推進員を複数配置している市民センター数 ② ③

目的実現の【手段】	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		当初計画	平成24年度までに129市民センターで、委員会等が地域の健康づくりの目標設定・計画作成・実践・評価に取り組む	平成24年度までに129市民センターで、委員会等が地域の健康づくりの目標設定・計画作成・実践・評価に取り組む	平成24年度までに129市民センターで、委員会等が地域の健康づくりの目標設定・計画作成・実践・評価に取り組む	平成24年度までに129市民センターで、委員会等が地域の健康づくりの目標設定・計画作成・実践・評価に取り組む		平成24年度までに129市民センターで、委員会等が地域の健康づくりの目標設定・計画作成・実践・評価に取り組む	(計画に基づき見直し予定)
現状	平成24年度までに129市民センターで、委員会等が地域の健康づくりの目標設定・計画作成・実践・評価に取り組む	平成24年度までに129市民センターで、委員会等が地域の健康づくりの目標設定・計画作成・実践・評価に取り組む	平成24年度までに129市民センターで、委員会等が地域の健康づくりの目標設定・計画作成・実践・評価に取り組む	平成24年度までに129市民センターで、委員会等が地域の健康づくりの目標設定・計画作成・実践・評価に取り組む	平成24年度までに129市民センターで、委員会等が地域の健康づくりの目標設定・計画作成・実践・評価に取り組む	(計画に基づき見直し予定)			
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)					平成21年度	目標		
	「地域でGO!GO!健康づくり」の実施または健康づくり推進員を複数配置している市民センター数					計画	129 市民センター	年度	24
	市民主体の健康づくりを拡充していくために、「地域でGO!GO!健康づくり」実施の推進と、活動に取り組む人材を養成し、各市民センターに健康づくり推進員を複数配置することを目指します。					実績	118 市民センター	内容	129市民センター
						達成度	91.5 %	年度	
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月【21年度:執行額】					事業費	11,547 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
						うち一般財源	11,547 千円	111,420 千円	
単年度計画	人件費には、担当課の他、各区役所生活支援課地域保健係の人件費も含まれています。								

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	「地域でGO!GO!健康づくり」を新たに14校区広げ、75校区で展開しました。また、健康づくり推進員の養成講座を実施し、健康づくり推進員数が585人になり、各区で健康づくり活動を5,018件実施、延べ236,068人の参加がありました。
------	-------------------------------------	--

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4: 高い 3: やや高い 2: やや低い 1: 低い	4	市民が主体的に話し合い、目標に向けた計画・実践・評価を行いながら健康づくりに取り組む「地域でGO!GO!健康づくり」の実施を継続すること、また、地域の健康づくりのリーダー的な役割を担う健康づくり推進員養成を行うことは、市民主体の健康づくりの推進に有効性が高いと考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。		4	「地域でGO!GO!健康づくり」は、市民自らが地域の状況にあった健康づくりの取り組みを考えるものであり、運営費の一部に補助金を交付し、効果的な活動を推進しています。また、健康づくり推進員の養成講座の実施により、ボランティアで地域の健康づくりに取り組む人材を養成しており、効率良く事業を展開させています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策の実現に対する影響はどうか。		4	「地域でGO!GO!健康づくり」の実施と、その拡充と推進役となる健康づくり推進員の養成をする本事業は、現在、本市の市民主体の健康づくりの推進の根幹となる事業であり、引き続き継続の必要性があると考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか。市の関与をなくすることはできないのか。		4	本事業は全市民的な推進を目指す活動であり、市民主体の健康づくりを推進するためには、市が主体となって支援する必要があると考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了	本事業は、実際に市民が主体となり健康づくり活動を展開していくものであり、施策の実現のために重要であると考えます。今後もまちづくり協議会などの地域団体と医師会、歯科医師会、薬剤師会などの関係団体との連携をはかり、全市民的な展開に向けて取り組みをすすめる必要があります。

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続
	○	

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月
		○

担当局/課	保健福祉局	健康推進課
連絡先	582-2018	

基本計画	柱	きずなを結ぶ
	大項目	誰もが元気で安心して地域で生活できるまちづくり
	取組みの方針	健康づくり
	主要施策	市民主体の健康づくりの推進

関連計画	北九州市高齢者支援計画・健康福祉北九州総合計画
事業期間	平成21年度～
経費区分	特別経費(重点)

II-2-(3)-①

事業名	健康マイレージ事業
-----	-----------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたのか。	生涯を通じた健康づくりを推進するため、日ごろの健康づくりや健康教室への参加、健康診査の受診などの取り組みをポイント化し、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取り組みを促進します。 より一層の応募者の増加を目指すことで、健康づくりの気運が高まり、各種健診受診者の増加も見込まれるため、より多角的なPRを行います。			
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	市民主体の健康づくりの推進	成果	① 健康マイレージ事業参加者数
					②

【目的実現の為に実施する内容】	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		現状	事業PR 応募者へ健康グッズ等交付 応募者数 20,000人	28,000人	36,000人	-	-			
	実施状況	成果・活動指標(上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標	
		健康マイレージ事業参加者数						計画	20,000 人	年度
		各種団体や市民センターを中心としたPRを実施しました。今後は、体育関係、生涯学習関係、企業などへもPRを強化し、応募者数の増加を目指していきます。						実績	4,590 人	内容
								達成度	23.0 %	36,000人以上
	コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月【21年度:執行額】						事業費	12,286 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)
								うち一般財源	1,535 千円	18,930 千円
	単年度計画	各区地域保健係も含んで算出								

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	市民センターを中心にPRを実施し、その成果もあり多くの対象事業(1000件以上)が登録されました。しかし、初めての試みであり、市民への周知が行き届きませんでした。 また、同じ人が応募用のポイントシールを何枚ももっていたり、健診が未受診だったなど、多くの事業登録が応募者へと結びつかなかったため、達成度は高くありませんでした。
------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4: 高い 3: やや高い 2: やや低い 1: 低い	4	応募者からは好評であり、当事業をきっかけに健診を受診する者も増加するなど一定の効果は認められます。また、応募者の30%が当事業をきっかけに市民センターへ行くようになった等、地域づくりの活性化にも寄与しています。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。		3	平成21年度の新規事業であり、前例がなくほとんどの業務を健康推進課内で行っており、事業の実施にあたり手間(人件費)がかかります。業務マニュアルを作成するなどより効率性を高める必要があります。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。		4	健康づくりへの取り組み及び健診受診率の向上は、今取り組むべき緊急の課題と考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか。市の関与をなくすことはできないのか。		4	事業を推進するためには、市民センター、まちづくり協議会などの地域団体と連携することが重要であり、市の関与は必要です。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了	ア	現状の方法で進めながら、より多角的なPRや参加しやすい仕組みづくりを行うことで、認知度の向上や応募者の増加を図っていきます。